

黒田基樹 × 柴 裕之

～秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ～



©西山遼



岐阜関ヶ原古戦場記念館では、令和5年10月に発足した関ヶ原研究会の情報発信事業特別企画として、大河ドラマ「豊臣兄弟!」で時代考証を務める黒田基樹氏と柴裕之氏のお二人に、そろって関ヶ原へお越しいただきます。

秀吉・秀長兄弟の時代から秀長、秀吉の死去、そして関ヶ原へと向かっていく時代の変化をテーマに、黒田氏と柴氏による2つの講演と、歴史タレントで関ヶ原観光大使の小栗さくら氏が進行を務める両氏の特別対談を行う、関ヶ原ならではの特別企画です。ぜひご参加ください。

2026 11/15 日 13:00～16:30 (開場12:15)

関ヶ原ふれあいセンター 大ホール

講演1

13:00～14:00(60分)

「秀吉の天下一統と羽柴秀次・小吉秀勝」

講師 黒田 基樹(駿河台大学教授)

講演2

14:15～15:15(60分)

「秀長死後の豊臣政権と徳川家康」

講師 柴 裕之(東洋大学非常勤講師)

対 談

15:30～16:30(60分)

「秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ」

出演 黒田 基樹(駿河台大学教授)
柴 裕之(東洋大学非常勤講師)

進行 小栗 さくら(歴史タレント)



参加申し込み

参加費 無料 定員 400名 お1人様2名まで申込できます。なお、当日は自由席です。

○申込方法 <https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p8745/>
岐阜関ヶ原古戦場記念館公式ホームページの申込フォームまたは
往復はがきにてお申し込みください。先着順となります。

○申込期間

10月14日(水)12:00から 11月8日(日)まで
※定員に達し次第、募集を締め切ります。



○往復はがき送付先

[宛 先] 〒503-1501 岐阜県不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55
岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「特別企画」担当者宛
※往復はがきでお申し込みの方は、11月6日(金)必着でお申し込みください。
[必要事項] ・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・申込人数(2人まで)
※申込人数が2人の場合は、2人目の氏名(ふりがな)

黒田基樹 × 柴 裕之 ～秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ～

2026 11/15 日 13:00～16:30 (開場12:15) 関ヶ原ふれあいセンター 大ホール

講演1

13:00～14:00 (60分)

「秀吉の天下一統と羽柴秀次・小吉秀勝」

講師 黒田 基樹 (駿河台大学教授)



1965年東京都生まれ。早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。博士(日本史学)。膨大な史料を博搜し、戦国史の実相を明らかにする研究に精力を注いでいる。大河ドラマ「真田丸」「豊臣兄弟!」の時代考証を務める。

(著書)『羽柴秀長と藤堂高虎』(NHK出版)『羽柴秀長とその家臣団たち 秀吉兄弟の天下一統を支えた18人』(KADOKAWA)『秀吉を天下人にした男 羽柴秀長』(講談社)『羽柴秀長の生涯 秀吉を支えた「補佐役」の実像』(平凡社)『小早川秀秋(シリーズ・実像に迫る5)』(戎光祥出版)ほか多数

秀吉が天下一統をすすめていた時期、弟の秀長に次ぐ立場にあったのが、のちに関白を継承する、甥の秀次でした。そしてその実弟に小吉秀勝がいました。

その小吉秀勝は、秀次が近江を領国にしていた時に美濃大柿領を統治し、秀次が尾張を領国にしていた時に美濃岐阜領を統治し、秀次の与力として存在していました。

秀次と小吉秀勝は、美濃と密接な関係にありました。ここではそうした秀次と小吉秀勝の動向について取り上げます。

講演2

14:15～15:15 (60分)

「秀長死後の豊臣政権と徳川家康」

講師 柴 裕之 (東洋大学非常勤講師)



1973年東京都生まれ。東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程満期退学、博士(文学)。戦国・織豊期の政治権力と社会についての研究を専門とする。大河ドラマ「どうする家康」「豊臣兄弟!」の時代考証を務める。

(著書)『徳川家康 境界の領主から天下人へ』(平凡社)『清須会議 秀吉天下取りへの調略戦』(戎光祥出版)『織田信長 戦国時代の「正義」を貫く』(平凡社)『秀吉と秀長 「豊臣兄弟」の天下一統』(NHK出版)編著に『図説 豊臣秀吉』『図説 徳川家康と家臣団』(戎光祥出版)ほか多数

羽柴秀長の死に伴い、豊臣政権の運営はどのようになっていったのでしょうか。また、そのなかで徳川家康は政権においてどのような立場にあり、どのような活動をおこなったのでしょうか。当該時期の家康の立場と活動から、秀長死後の豊臣政権についてみていきたいと思います。

対 談

15:30～16:30 (60分)

「秀吉・秀長兄弟から関ヶ原へ」

出演 黒田 基樹 (駿河台大学教授)
柴 裕之 (東洋大学非常勤講師)

進行 小栗 さくら (歴史タレント)



東京都生まれ。博物館学芸員資格を有する。歴史タレント、歴史小説家としてテレビ、ラジオ、講演会等で活動し、日本の歴史文化の魅力を広く発信している。関ヶ原観光大使を務めるほか、歴史系アーティストユニット「さくらゆき」のボーカルとしても活動。

(著書)『余烈』(講談社)『読んで旅する鎌倉時代』(講談社)『どうした家康』(講談社)歴史雑誌『歴史研究』において歴史小説「相照」を執筆中

「豊臣兄弟!」の放映に伴う、羽柴秀長研究の進展により、豊臣政権は秀吉・秀長兄弟のもとで展開し、そして「天下一統」が実現したことがわかってきました。そこで改めて秀吉・秀長兄弟について明らかになってきたことを確認するとともに、秀長死後のそれがどのようになり、関ヶ原合戦へと至っていったのかを語ります。

秋季企画展

とよ かがみ

『豊鑑』からひもとく豊臣家とその戦い

会期 / 2026年10月6日(火)～11月23日(月・祝) 休館日除く

会場 / 記念館2階企画展示室

竹中半兵衛の嫡男・竹中重門(1573～1631)が著した豊臣秀吉の一代記『豊鑑』の記述に導かれながら、豊臣家とその戦いについて、貴重な史料とともに展示紹介します。



竹中半兵衛重治像
(岐阜関ヶ原古戦場記念館蔵)